

# 川波だより

## 卒業記念号

65回生  
平成24年度

編集・発行  
島田高等学校同窓会

〒427-0038

静岡県島田市稲荷  
1丁目7番1号

電話 0547-37-2188

FAX 0547-35-1744

kawanami@ab.thn.ne.jp

同窓生 21,691名

在校生 479名

### 同窓会活動のご案内

同窓会では次のような事業を行っています。是非ご参加下さい。

#### 定期総会

毎年六月祭の時に開催し、在校生のスポーツや文化活動で活躍した生徒の表彰の他、アトラクションで在校生と同窓生が交流しています。

#### 六月祭での同窓会ルームの開設

毎年六月祭（みなづきさい）の時に開催し、各界で活躍している同窓生の作品を展示し、広く市民に公開すると共に、在校生の皆さんに直接触れる機会を提供しています。

#### 同窓生の集い

毎年8月第3日曜日頃、卒業回生ごと順番に開催し、世代を越えて同窓生同士の交流を深めています。

今年は、3の回（：23回生・33回生）の人達を中心に開催します。2年後はあなた達の番です。

#### 同窓会報「川波だより」の発行

毎年1回発行しています。

## 祝ぐ卒業 出立のとき



同窓会会長 鈴木善彦

島田高校ご卒業、おめでとうございませう。  
通い慣れた学び舎、島田高校を卒業され、いよいよ皆さんの出立のときを迎えました。

大学に社会にと出立されますが、それぞれの前途は洋々でもあり、また、混沌でもあります。可能性に満ちていますが、不安にも覆われているのです。

私は今大学で働いていますが、ここでも、大きく飛躍する学生と、そうでない学生がいます。その差異の力ギは目的意識にあります。学びに目的を定める否かで、各授業で得るものから、出来上がるレポートや作品まで違ってきます。未来への展望も変わってきます。

さらに、物事を多面的に見る姿勢が大切です。柔軟さ、ともいえ

ます。偏狭や硬直は若者に似合いません。時に、共感し、時に、批判し、前からも後ろからも自在に真実を追ってください。

社会の秩序や規範も揺れ動き、ともすると安易さや惰性に流されがちですが、目的意識を持ち、多面的に大学や社会を眺めれば、なんとクリエイティブで希望に満ちていることでしょう。そこは楽しさややり甲斐にあふれています。

加えて、皆さんには島田高校で得た仲間や恩師、知識や経験があります。いつの時代も青年の前途は荒野ですが、大丈夫。島田高校卒業に自信を持ち、この出立の時、こころざしを抱いて自らの道を切り拓いていってください。

同窓生一同、皆さんの出立を心から祝福し、応援しています。



全国高校駅伝大会出場 島高チーム

## 同窓会入会に寄せて

小澤節子 (15回生)

厳しい冬の先には光り眩しい春が来ます。ご卒業おめでとうございませう。

巢立ちの時を迎えられた皆さん、新しい人生の出発点に立ちました。これからの様な世界を旅して行くのでしよう。何事にも元気、勇気を持って羽ばたいて下さい。

もう50年も前に島高を羽ばたいて社会の一員となりましたが、何かにつけ母校の様子は気になるものです。特に島高活躍の知らせは本当に嬉しいものです。そして、11月4日、県駅伝大会、男子優勝、女子準優勝と素晴らしい成績でした。おめでとうございます。奇しくも全国植樹祭ポランティアで小笠山運動公園を移動中アンカーの雄走を見ました。思わず「ガンバレ」と大声を上げてしまいました。そして全国大会頑張ってくださいました。

母校の荣誉は同窓生の喜びです。母校の困難があるとすれば同窓生も分かち合います。皆さんはこれから同じ仲間になるのです。同胞です。基盤は島高卒業生。

皆さんはこれから幾人の人と出会うのでしょうか。私は数え切れないほどの友人を持っています。私の大切な宝物です。特に苦しい時ほど心の支えとなってくれます。皆さんも友人を大切にして下さいね。

「連山若き希望に映えて」、島高生の誇りを持って未来に大きく羽ばたいて下さいね。



中野悦久 (37回生)

ご卒業おめでとうございます。

私は、旧金谷町で生まれ育ち、ふるさとを離れて早28年。田舎には年に数えるほどしか帰ることはありませんが、都会の喧噪から解放されたれ、牧之原台地から眺める富士と大井川、その風貌は30年前となんら変わらず、この山河のコンストラクションは今も私の心のより所となっています。

皆さんは、バブル崩壊後「失われた20年」を生きてきた世代です。皆さんの将来が現在の延長線上ならば日本は世界から取り残されます。これからは過去の成功体験や経験に固執することなく、環境変化のスピードに柔軟に適応できる能力が求められます。そのためには日々勉強が大

切です。高校・大学での勉強も大事ですが、社会での学びや遊びが「考える力」や「人間形成」に大いに役立ちます。そして夢を持ちましょう。どんなに小さな夢でも1%の可能性があるならば、その夢をずっと追いつけてほしいと思います。

神様は、人間に平等なものを3つ与えました。「生」と「死」、そして「時間」。人間ひとりでは生きて行くことはできません。恩師や先輩、多くの仲間を支えられ、今の皆さんがあります。更に忘れてはならないのは両親の存在です。今日無事に卒業できるのも、18年間皆さんを育て上げた両親の愛情があったからに他なりません。これからも「感謝の心」・「人とのご縁」・「真摯な姿勢」を忘れず、未来ある人生を大いに楽しんで下さい。

島高健児のますますのご活躍を心よりお祈り申しあげます。



岡村志帆子 (59回生)

ご卒業おめでとうございます。

私が島高を卒業してから、早いもので6年が経ちました。高校時代の友人とは、今でも頻りに食事に行っ

たり、旅行に出掛けたりしています。島高で出会った友人は、私にとっての大きな財産です。

これから皆さんは、進学や就職等、それぞれ新しい環境での生活が始まりますね。不安や戸惑いもあるかも知れませんが、ぜひ積極的に色々な世界に触れてみてください。読書や旅行など、好きなことから構いません。きっと新しい価値観との出会い、今後の自分の人生に大きな影響を与える人との出会いが待っています。そして、これまではわからなかった新たな自分を知ることができ、自分自身を成長させる良いきっかけとなってくれるはずですよ。

私は現在、島田市の職員として働いています。大学で出会った先生の一言がきっかけで、今に至ります。先生と出会っていかなかったら、と考えると今でも不思議な気持ちです。仕事をしていく中では、日々考えさせられることばかりです。独りよがりな考えでは通用しません。上司や先輩の意見、そして市民の声にも耳を傾け、市民サービスとして行動に表していかなければなりません。皆さんには、どんな社会でも柔軟に対応できる人間に成長してほしいと願っています。